



第11号

上野原市立秋山小学校

新しい年、 そして3学期のスタートです！

1月も下旬に入りましたが一年の最初のお便りですので、あいさつから始めさせていただきます。保護者の皆様、地域の皆様、いつも本校を温かく見守り、励まし、お力添えをいただいていますことに心より感謝申し上げます。本年も保護者・地域の皆様方のご支援・ご協力をいただきながら、子どもたちのより良い成長のために一層の努力をしていく所存です。皆様方には、どうぞ今後も変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、今年は東京で夏のオリンピック・パラリンピックが開催されます。水泳や陸上をはじめとした夏のスポーツの祭典です。まだ半年も先のことですが、世界のトップアスリートたちの熱き戦いが今から楽しみです。「より速く、より高く、より強く」という言葉は、オリンピックや競技スポーツの世界ではよく使われます。この言葉はもともと、高校の校長をしていたアンリ・ディドン神父が、生徒たちの陸上競技大会で学校のモットーとして述べた言葉です。すべての生徒が、自分のレベルの中で少しでも向上できるように頑張ろうという意味で、他人と比較しての優劣ではなく、規準はあくまで自分自身であり、現在の自分から一歩でも前に進もう、そのために行動しよう、ということを説いています。この考え方はスポーツに限らず、すべてに通じる考え方です。つまり、より高い存在になることを目指して努力を続けること、そして、その過程を通して人間性を高めていくという生き方が大切だということです。

一年の始まりの月です。去年の自分より少しでも向上できるよう努力をしていくことを決意して、子どもたちとともに一年間頑張っていきたいと思います。



スキー日和！ 5・6年

1/16

今年の冬は、これまでにない暖かい日が続いていましたが、この日は夜からの冷え込みもあり、朝から冬らしい一日。(スキーには最適?) 子どもたちの楽しみにしていたスキー教室がスタートしました。

リフトに乗りじっとしていると凍えるような寒さでしたが、「子どもは風の子」の言葉通り、「ふじてんスキー場」に秋山小の子どもたちの元気な歓声が最後まで響き渡りました。

午前中2時間、午後2時間の中で、インストラクターや先生方の指導でめきめき上達！ リフトに何度も乗って、時間いっぱいたっぷり滑ることができたそうです。「体中が痛〜い」といった声もありましたが、「また行きたい」「楽しかった」が、ほとんどの子どもたちの感想でした。ウィンタースポーツの楽しさを十分満喫したようです。



みんな、滑って転ぶのがこわかったけど、滑っていくうちにだんだん上手に滑れるようになりました。スキー教室が終わった後、みんな疲れていたけど笑顔になっていました。最高の思い出になったと思います。

6年生子どもの
感想から



ミニ演奏会の始まり、始まり～

ある日の放課後、図工の時間に作った手作りの楽器を持って、2年生が二人、校長室にやってきました。そして、「楽器を演奏します」と言ってから、息の合った演奏を始めました。ミニ演奏会の始まりです。一生懸命演奏する二人。微笑ましい姿に、そして心のこもった演奏に拍手を送りました。



ドラムとギターを手に演奏する二人

さらに翌日には、休み時間に5、6人が楽器を持って職員室へ。演奏を披露してくれました。ここでも心のこもった演奏に拍手。ありがとう。(急だったので写真を撮り忘れてしまいました。残念・・・)

休み時間の一コマ ～寒さに負けず！～

こちらは2年生。冬休みの宿題で作った凧を揚げようと、休み時間、校庭に飛び出してきました。何とか揚げようと必死に走り回る元気な子どもたち。高くは揚げられませんが、少し揚げると歓声が。難しさもひしひしと感じたようです。



週末に降った雪が校庭の南側に残っていました。休み時間になると飛び出してきた子どもたち。早速、雪合戦の始まりです。「きゃー、冷たい！」そんな声も校舎まで聞こえてきます。寒さに負けずに、雪を片手に走り回る元気な子どもたちです。



写真はありますが、5人の仲良し1年生。体育の時間に二人跳びを習うと、早速休み時間に練習を始めました。「ちょっと速いよ～」と、回す人に注文しながらタイミングを合わせて跳んでいました。一人でもまだなかなか続かないのに、難しいことに挑戦する子どもたち。頑張れ！



お出かけミルケ 間近に演奏を 1/17

山梨大学の学生さんによるキッズコンサートが開催されました。低高学年に分かれての二部制で行われ、間近で素晴らしい演奏を聴くことができました。コンサートの途中には楽器の紹介もあり、それぞれの楽器の特色ある音色に触れることができました。

昨年の中部フィルの演奏に続き、今年も貴重な学びの機会を得ることができ、とても良かったです。



言葉や文化に興味津々！ 1/24

異文化との交流を目的に、今年も国際交流集会を開催しました。全校であいさつを交わした後、低中高学年に分かれ、お話を聞いたり質問をしたり、ゲームをしたりしました。

あきっこ達はほとんど人見知りしません。話の途中でも話しかけて和やかな雰囲気の中で学習を進めていきました。昼休みには、校庭でサッカーや鬼ごっこ、だるまさんが転んだで一緒に遊んだり、ソーラン節の曲をかけて一緒に踊ったりして、楽しいひとときを過ごしました。

「明るくて素直な子どもたちと一緒に遊んだことも楽しかった。来年も来て、もっと仲良くなりたい」と、交流員の方々もおっしゃっていました。



今年度、来校してくださったのは、次の方々です。

オリバーさん

(アメリカ出身)

ファドリーさん

(インドネシア出身)

カミーユさん(フランス出身)

石原さん(山梨県観光交流課 国際交流担当)

